

■市村清 (リコー)創業。戦争前後を代表する経営者の一人。常識の裏をかくアイディア社長として一世を風靡。

いちむらきよし

ピア/国産化・1900＝ 佐賀県北茂安村で、市村豊吉・ツ子の長男に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 5歳：

韓国反日暴動1907＝ 7歳；北茂安小学校に入学，以後，首席を続けて，

伊藤博文暗殺1909＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝12歳：

大正政変・・1913＝13歳：卒業し，北茂安村から最初の合格者として，県立佐賀中学に入学するが，

第一次大戦始1914＝14歳：家が困窮して中退，野菜売りを始める。

民本主義・・1916＝16歳：共栄貯金銀行久留米支店に事務見習いとして採用される。

ロシア革命・1917＝17歳：この年，{理化学研究所(理研)}が設立される。

本格政党内閣1918＝18歳：

大暴落・・・1920＝20歳：向学心止みがたく，上京して，中央大学の夜間の専門部法科をに入学するが，

原敬首相暗殺1921＝21歳：

水平社結成・1922＝22歳：中退して，日中合弁の大東銀行に入社，経理係として北京に赴任，その後，上海分行に移り，会計主任，支店長代理から，取締役に進むが，

治安維持法・1925＝25歳：結婚。

金融恐慌・・1927＝27歳：金融恐慌によって大東銀行が閉鎖となったため，富国徴兵保険に入社し熊本支部に配属されるも，

世界恐慌・・1929＝29歳：退社し，\_理研が開発した感光紙の九州総代理店(吉村商会)の利権を譲受け，福岡で独立開業。

\_業績を幾何級数的に伸ばし，朝鮮・満州の総代理店の権利も獲得するなどして，

満州事変・・1931＝31歳：

\_理研所長の大河内正敏に注目され，

国際連盟脱退1933＝33歳：\_理化学興業感光紙部長に招聘される。周囲の嫉妬で四面楚歌となるが，

二二六事件・1936＝36歳：\*大河内の再度の好意で，{理研感光紙株式会社}を創立して代表権持つ専務に就任。

日中戦争始・1937＝37歳：{オリンピック製作所}と{旭物産}を買収し，\_大河内を会長に{旭光学}を設立してカメラ事業にも進出，日本最初のレンズシャッター35mmカメラ{オリンピックD}発売。

健保+総動員 1938＝38歳：\_{理研感光紙株式会社}を{理研光学工業}と改称。業績が際立っていたため，信任はますます高まり，次々と理研グループ各社の重役を兼務し，理研コンツェルンの中心的存在となって行く。

日米開戦・・1941＝41歳：

・・・・・1942＝42歳：

\_ {旭光学}を{旭無線}と社名変更し，戦時中はカメラ事業は中断。理研の新年会の席上，大河内と正面衝突し，関係した全重役の辞表を提出するも，大河内の親身の扱いを受け，{理研光学工業}{飛行機特殊部品}{旭無線}3社を理研から切離され，完全に独立する。

創価学会検挙1943＝43歳：朝鮮の京城を本社とする{理研特殊製鉄}を創立し社長に就任。

年金+総武装 1944＝44歳：関連7社からなる{自険会}を発足させ，物資不足のなか，機関誌{自険会報}を発刊。

敗戦・・・1945＝45歳：\_ '人を愛し国を愛し勤めを愛する'をモットーに{三愛商事(のち三愛)}を設立，その生き方に共鳴されて，不可能と思われていた銀座一等地の土地の入手にも成功し，

新憲法公布・1946＝46歳：\*{理研光学工業}社長に就任する一方，新店舗をオープン，食料品を適正価格で売出して名を高め，グループも改名し機関誌{三愛}創刊。のち，女子学生アルバイトの調査で，婦人ファッション専門店に転換。

新憲法施行・1947＝47歳：\_明治神宮からの再建要請で，憲法記念館を結婚式場(明治記念館)とし，大成功。

朝鮮戦争始・1950＝50歳：道徳再武装運動MRAの日本代表の一人としてスイスでの大会に出席し，帰途，欧米各国を視察して，\_リコーフレックスIIIを発売すると，空前のヒットとなり一世を風靡。

独立回復・・1951＝51歳：「最近の欧米事情」出版。

メテ-事件・1952＝52歳：\_{三愛石油}を設立して社長に就任し，羽田空港での給油権を得る。

自衛隊発足・1954＝54歳：

55年体制始・1955＝55歳：\*カメラ拡販のために渡米した際，訪問先で事務机に置かれた複写機を見て閃き，帰国すると，リコピー101をデビューさせ，オフィスオートメーション化の口火を切る。

なべ底不況・1957＝57歳：\_日本で初めてカメラの量産体制を確立し，{理研光学工業}に大河内記念生産賞。

インサントーム・1958＝58歳：\_前年設立し社長となった{西銀座デパート}がオープン。

\_高度成長期を代表するアイディア経営者となって，マスコミにもしばしば登場するするとともに，「経営の神様」と呼ばれ，教えを受けようと五島昇・盛田昭夫ら経営者らが集まり，「市村学校」とも言われる。

安保闘争・・1960＝60歳：「人の逆をいく法」「儲ける経営法・儲かる経営法」出版。\_事務機用印刷機{リコーオフセットB4}発売。

たいたい病始・1961＝61歳：胃潰瘍の手術を受ける。市村遺児育英会発足。\_発明品普及への貢献で藍綬褒章。

全国総合計画1962＝62歳：日経(私の履歴書)連載が大反響。「光は闇をつらぬいて」出版。コカコーラの北九州地区販売権を得，のち西日本全体に拡大。\_{高野精密}の社長に就任して再建，{リコー時計}と改称，再びカメラ事業を推進，

TV宇宙中継始1963＝63歳：\_{理研光学工業}を{リコー}に改称。ユニークな銀座三愛ビルが完成。アメリカのリース会社と提携，経団連石坂泰三の呼びもあり，日本初のリース会社{日本リース}を設立。

東京オリンピック 1964＝64歳：「闘魂ひとすじに」「そのものを狙うな」出版。視察を兼ねて，妻伴い世界一周旅行。

大学紛争始・1965＝65歳：\_中核たる{リコー}が経営不振で無配転落し非難を浴び，必死に再建にあたり，電子リコピー{BS-1}を発売するやベストセラーとなって，

美濃部都知事1967＝67歳：\_わずか2年で復配させ，再び世間の評判を浴びるとともに，その後のOA機器メーカーの基礎を築くが，

霞ヶ関ビル・1968＝68歳：\*食道癌となり，私財30億円を投じて{新技術開発財団}を設立し，没した。

インターネット，